

技能実習制度とコロナ禍における入国制限について

海外業務室 荒谷

皆様、日頃の海外業務室に関わる業務並びにタイ人技能実習生へのご指導誠にありがとうございます。
海外業務室として、外国人技能実習制度とコロナ禍における入国制限に関してご報告させていただきます。

外国人技能実習制度は 1993 年に誕生した比較的新しい制度となります。柿原では 2015 年 7 月にタイ王国より 1 期生となる 6 名の外国人技能実習生の受け入れを開始し、2022 年 6 月現在、47 名（技能実習：34 名、特定技能：13 名）の技能実習生が在籍しています。タイに帰国した実習生も合わせれば、計 65 名の実習生がタイからはるばる来日したこととなります。

技能実習制度と言えば、実習生の失踪や度重なる暴力の報道、労働力の搾取等ネガティブなイメージが先行していますが、技能実習制度は決して人手不足を補うものではありません。

技能実習制度は、『我が国で開発され培われた技能、技術又は知識の開発途上国等への移転を図り、その開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的とする制度』と定義されています。つまり、開発途上国等の人々に日本の技術や知識を習得して、母国に帰ってから役立ててもらふ趣旨の制度です。

実習生受入と入国後の流れ

続きまして実習生の受入と入国後の流れを説明します。

実習生達はタイ現地にて面接（コロナ禍中はオンライン）を受け選抜されると、そこから約半年間現地にて事前教育を受けます。ここではみっちり日本語教育を受けるそうです。ビザが発給され日本に入国すると、当日から広島市の西海協教育センターにて日本語・日本文化・風習・法律・道徳等を中心とした 1 か月の講習を受けます。この間に海外業務室にて宿舎の準備をします。宿舎にも間取りの決まりや備品リストがあるので、それに沿って準備します。現在柿原では新涯町を中心に 11 棟の技能実習生向け宿舎があります。柿原に配属してからの流れは以下表をご確認ください。



技能実習制度は基本「3 年間」ですが、実習実施者（柿原）と管理団体（西海協）が優良指定を受け、また実習生も技能検定試験に合格すると更に最長 2 年間（計 5 年間）の滞在が可能です。（※その際は母国へ 1 か月以上の一時帰国が必要となります。）

柿原ではほとんどの実習生が第 3 号実習に移行しており、5 年間滞在しております。また在留資格を「技能実習」から「特定技能」へ移行することで、5 年間の技能実習を終えても更に最長 5 年の延長が可能となります。柿原では現在 4 期生までの実習生が既に「特定技能」に移行しており、1 期生の 3 名は柿原就労 8 年目となりました。

コロナ禍での受け入れ状況

コンスタントに技能実習生を受け入れている柿原ですが、2020 年 3 月下旬に日本でも感染者が急増し世界的パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で、2019 年 12 月 9 日に入国した 11 期生を最後に受入が不可能となりました。

2020 年 3 月半ばに中国がロックダウンを開始し、3 月末にはタイをはじめアジアの国々も国境を閉じ始めました。そして 2020 年 4 月 3 日 0 時、日本も海外からの渡航を禁止し、長い長い鎖国時代に入ります。帰国者（日本人や在留資格のある外国人のみ）に対しても「自宅やホテルなどでの 14 日間の待機」「公共交通機関の利用禁止」が要請されたので、SKC からの日本人スタッフの帰国も非現実的となりました。それから一時緩和があるものの変異株の出現等ですぐ厳格化。タイ国籍であればタイ入国時のホテル隔離（2 週間）費用が免除されるので、実習を終えタイに完全帰国した実習生は数名いました。ただ一時帰国となると日本入国時の隔離（実費）が必要なので、一時帰国が必要な実習生も特例を使い一時帰国なしで実習を続けていました。それから入国緩和と厳格を繰り返し、2022 年 3 月に「条件を満たした外国人の入国緩和」がやっと決定しました。

本来であれば 2021 年 6 月頃に入国予定だった 12 期生でしたが、2022 年 3 月 24 日に満を持して入国となりました。実習生達はタイで待っている間アルバイトをして過ごしたようです。また一時帰国が必要だった実習生（5 期生・7 期生・8 期生）も 8 月までに一時帰国を終え柿原に戻ってくる予定です。5 期生に関しては 2017 年 7 月に入国してから一度も帰国できずにいたので、5 年ぶりの帰郷となりました。

また柿原での技能実習を終え帰国した実習生の中には、タイ子会社である SKC に就労となった実習生が何人もいます。柿原で培った技能をタイ母国にて活かしていることでしょう。またこれは技能実習制度の目的である「日本の優れた技術や知識を学んでもらって、母国の発展のために活躍してもらう仕組み」に大いに貢献しています。

4 月 5 日にオンライン面接にて採用された 13 期生 6 名ですが、今年 11 月頃に来日予定となっています。またご指導よろしくお願い致します。